

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和8年第1回宮城県栗原警察署協議会
開 催 日 時	令和8年2月12日（木） 午後1時15分から 午後2時15分まで
開 催 場 所	栗原警察署 大会議室
出 席 者 等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～阿部東吾会長、小野寺勝典副会長、菅原信二委員、 小林妙子委員、菅原博美委員、伊藤紀彦委員 ・ 欠席委員～なし <p>2 警察署側</p> <p>署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、若柳幹部交番所長</p>
議 事 概 要	別紙記載のとおり
備 考	

議事概要

1 報告事項、協議事項

(1) 管内の治安情勢について（署長等）

署長、刑事課長、生活安全課長、交通課長から、令和7年中の刑法犯認知件数等、管内の治安情勢について説明がなされた。

○ 委員

栗原警察署は若柳警察署と築館警察署が統合し、警察力が集中して検挙率が上がったとのことであるが、行政機関の統合というのは市民の皆さんから遠くなったとか不便になったなどの声が出る所、統合前と同じ人員で素晴らしい成果を上げられたことは、署員の皆さんの努力が一番の要因だったのではないかと思う。本当にお疲れ様でした。

○ 委員

検挙したタイヤ盗事件について、詳しく教えていただきたい。

● 刑事課長

一般民家の倉庫や軒先に置いていた夏タイヤを盗まれる被害が管内を中心に連続発生したことから、管轄交番員等が管内の防犯カメラを精査し、容疑者を浮上させて刑事課とともに捜査中のところ、栗原市内で発見して職務質問を実施し、逮捕に至ったもので、現在も捜査中である。

(2) 令和8年度上半期「栗原警察署速度取締り指針」について（交通課長）

交通課長から、栗原警察署の速度取締り重点等について説明がなされた。

（委員からの質問なし）

(3) 築館交番の開所に向けて（警務課長）

警務課長から、築館交番の開所に向けた進捗状況等について説明がなされた。

2 意見、要望等

○ 委員

自転車の取締りは実際に行われているのか。

● 交通課長

自転車についても、悪質で危険なもの、例えば信号無視、一時不停止、飲酒運転等を継続して取り締まっている。

本年4月1日からは、青切符制度が導入されるので、同制度による取締りを推進していく。

○ 委員

自転車ヘルメットの着用率は、およそどれくらいか。

● 交通課長

県内だと2～3割もっていない。

なお、調査によると、ヘルメットを被らない理由は、若い人は特に、髪型が崩れるとか格好が悪いとか、周囲の人が被っていないからなど、安全面より見た目を気にする人が多いようである。

○ 委員

先日、築館地内の女性の方が行方不明になり、地域の方がチラシを持って捜索依頼をしていたが、警察としては、事件性がない場合どのように関わっていくのか。

● 署長

警察としては、当然行方不明届が出されれば、見つかるまで探すというスタンスである。

手配をし、いつまでも探すし、情報があればそこに行く。

ただし、行方不明になった直後のように署員を大量動員して捜索することは継続できず、情報待ちとなる。

通常の警察活動を通じて捜索及び情報収集を継続し、また、県警のヘリコプターへも情報提供をしているのでパトロールをしてもらうなどしている。

今回の行方不明の件では、御家族の方が当初作成されたチラシの案には家族の連絡先しか記載がなかったが、生活安全課長の助言等により連絡先を警察署の電話番号のみとし、行方不明者家族の負担を軽減するとともに、発見に結びつく情報があれば即座に動けるようにしている。

3 その他

警務課長、生活安全課長から警察官採用募集等の警察広報、事務連絡を実施した。